

平成26年12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第5区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

安倍暴走ストップ！ 国民の声が生きる政治に

政治とカネ
 企業・団体献金禁止
 政党助成金廃止を
 日本共産党を伸ばせば
 政治は必ず変わります。

浜岡原発

再稼働NO！
 「原発ゼロの日本」への
 再生可能エネルギーの普及を

集団的自衛権

「戦争する国」づくり許さない
 憲法9条生かした平和外交を
 ●日本を「海外で戦争する国」にする「閣議決定」は撤回を
 ●「北東アジア平和協力構想」を提唱
 ●米軍キャンプ富士撤去、オスプレイ訓練中止を

アベノミクス

「格差拡大」を許さない
 くらし第一で経済たて直す
 ●人間らしく働ける雇用のルールを
 ●社会保障一切りすてから充実へ
 ●TPP撤退、農業と中小企業の振興

消費増税に頼らない
 別の道を

●富裕層と大企業に充分の負担をもとめる
 ●大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で増税をふやす

比例代表は

日本共産党

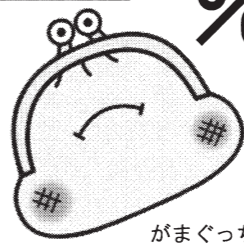
とお書きください。

《 おおば桃子のお約束 》

若者・恋人・息子を
 戦場に送らない！

「先送り」でなく
消費増税10%
増税3兄弟を
中止を

消費増税、格差拡大、戦争する国づくり、原発再稼働...
 あらゆる問題で国民の意思とアベノミクスの安倍政権。
 暴走ストップ、政治を変える絶好のチャンスです。



がまぐつちゃん
カクサン部！

http://oobamomoko.cocolog-wbs.com/



おおば桃子
 ももこ

日本共産党

プロフィール
 1956年生まれ、58歳。早稲田大学
 第一文学部卒業。函南町議会(3期)の会世話
 人など歴任。函南町議(3期)、現在、
 党准議員、伊豆地区常任委員。

誇れる日本と、かけがえのない郷土を守る。

「景気回復を止めるな！」

経常利益は史上最高水準に推移し、企業倒産は史上最低の水準、
 失業率も17年ぶりの低水準、有効求人倍率は22年振りの高水準、
 名目総雇用者所得の伸びは9年振り。アベノミクスの効果をより身近に！
 より実感できるものに！さらに強い経済を実現します！

財政の健全化は景気の安定から！

景気回復 社会保障 子育て支援 地方創生

「子どもたちの未来のために」

教育の地域間格差を是正し、次代を担う子どもたちが
 安心して学べる環境を作ります！ライフワークとして取り組む児童虐待問題の
 対策をさらに前進いたします！子ども・子育て支援策の充実により、
 暮らしを支える政策を実現します！

守るべきものがあふれるから
 歩みをつげる。

「社会保障の充実」

団塊の世代が75歳以上になる
 2025年問題を見据え、生命と健康を維持する
 ため、地域包括ケアシステムの構築をはじめとし、
 福祉の現場での経験を生かし、
 医療、介護サービスの提供体制を整えます！

「地方創生に全力！」

より住みよい環境を確保し、地域の隅々まで
 経済効果の実感を持てる政策を実行します！
 公共交通インフラをはじめ、治山治水対策、
 津波高潮対策等災害につよまづくりを目指します！

吉川たける



吉川たける
 よしかわ

自民党
公認

昭和五十七年四月七日生まれ(三十二歳)

経歴

現在富士市在住。大東文化大学法学部卒業後、衆議院議員宮沢洋一事務所、
 老人保健施設職員等を経験し、平成24年第46回衆議院議員総選挙初当選。
 内閣委員会、災害対策特別委員会、倫理選挙特別委員会に所属。自民党お祭
 り議員連盟の立ち上げ後、事務局長に就任し、伝統文化の継承、地域活性化
 へ向けた活動に取り組む。自民党青年局次長をつとめ、自民党女性局次長と
 して児童虐待問題の対策に取り組む、自民党商工・中小企業関係団体副委員
 長としても、地域経済の発展のため全力で活動中。

The Democratic Party of Japan
民主党

未来への責任

細野豪志の今までの活動はホームページ
<http://goshi.org>
 にも掲載しています。

地域の代表として

静岡東部は、人材、文化、自然、産業とあらゆる面
 で素晴らしい環境に恵まれた地域です。
 私を政治家として生み育ててくれた岳南、北駿、
 伊豆地域の発展のために全力を尽くします。

・盟友である川勝知事との連携を強化し、静岡東部の地域医療・介護体制・子育て環境の整備・障がい者の活躍できる地域づくりに全力を尽くします。
 ・世界文化遺産となった富士山を中心とした観光振興に、官民のアイデアを結集して取り組めます。
 ・命の道である伊豆縦貫道、御殿場と山梨を結ぶ国道138号線、笹原山中バイパスの整備を継続します。
 ・産業・観光の拠点として田子の浦港を整備し、防災対策など田子の浦振興ビジョン策定に向け、地元自治体や関係団体との連携を強化します。
 ・狩野川や沼川などの治水対策に引き続き取り組みます。
 ・東海地震・富士山の噴火などの大災害については、ハードとソフトの両面から備えます。

円安による物価上昇に対し労働者の賃金の上昇が追いつかず、実質賃金は下がり続けています。さらに政府は生活の足である軽自動車の増税も決めました。我々は、自動車税の軽減や燃油の高騰対策を提案し続けてきました。また、私たちが必死に守ろうと取り組んだ皆様の年金を、十分説明することなく、株式市場に投入するなど、大きなリスクに晒すことになっています。

私たちは、地方、中小企業、若い人たちははじめ、すべての働く人の立場に立った経済政策を訴えます。今まで育てていただいた皆さんの期待に応えられるよう、これからも努力して参ります。

私たちは、与党経験を活かし政策を提案していきます。

- 消費増税増税分は医療・年金・介護・子育てに。**
 →静岡県の健康寿命を延ばすための取り組みを後押しし、介護や医療を改革します。
 →現役世代の応援・少子化対策のため子育て支援を行います。
 →教育は保護者の負担軽減、教育の質・量の向上、制度の改善の三本柱で充実させます。
- アベノミクスとは異なる経済政策を提案します**
 →私たちは、アベノミクスの陰で苦しんでいる地方、中小企業、働く人(特に非正規雇用の方々)に光を当てます。
 →企業の社会保障負担を軽減することで、非正規雇用から正規雇用への転換を促し、若い世代の所得を増やします。
 →均等労働・均等待遇を実現し、若い世代が結婚できる社会を実現します。
 →地方経済再生のカギは地域主権改革です。土地利用規制などの権限を地方に移し、身近な自治体が経済を活性化できる仕組みをつくります。
 →地場産品の優先購入や、地域企業連携(例:バイ静岡)を各地で展開し、地域でお金が回る仕組みを実現します。
- 現実的な安全保障政策**
 →国防の礎である陸上自衛隊の皆さんの待遇を改善しなければなりません。
 →周辺海域におけるグレーゾーン事態対処のため、私たちは領域警備法案を国会に提出しました。
 →2004年に民主党、自民党、公明党で成立の合意をした安全保障基本法(緊急事態基本法)の早期成立を目指します。
 →朝鮮半島の有事など、想定しうる危機に備え、わが国の自衛権を再定義します。



細野豪志
 ほそ の たく し

民主党

昭和46年8月21日生(43歳)

届けよう

あなたの声を 投票で

投票日は

12月14日(日)



投票日に仕事やレジャーなど予定のある方は
「期日前投票」をしましょう。

12月13日(土)まで 午前8時30分～午後8時

(一部地域を除く)

静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会

